

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 今日の昼食には敬老の日のお祝いをします。
心づくしのお料理を作りました。みんなで楽しくお祝いをしましょう。
- 9月22日(月)～27日(土)、柳牧師夫妻が韓国教団の総会に出席するため、韓国へ行かれます。
この期間、総会での交わりと奉仕が豊かな恵みとなるように、皆さまのお祈りをお願いいたします。
- 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



ぶどうの木のたとえ

「真のぶどうの木であるイエス・キリスト」

ヨハネの福音書 15 章 1～12 節

1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。
2 わたしの枝で実を結ばないものはすべて、父がそれを取り除き、実を結ぶものはすべて、もっと多く実を結ぶように、刈り込みをなさいます。4 わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。…12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 鈴木真由美(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 高木はつえ(祈祷)

水曜礼拝 高木はつえ(司会) 北原孝子(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-38 号

2025.9.21

敬老の日主日礼拝

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝	AM 11:00～
	賛美リード 韓芽唯
信仰告白	(使徒信条)
代表祈禱	平澤寿子
特別賛美	インマヌエル聖歌隊
お知らせ	
聖書箇所	ヨハネの福音書 15:1-12 (ぶどうの木のたとえ1)
メッセージ	柳承吉牧師
賛美	神の家族
祝禱	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝	PM 2:30～
	賛美リード 韓芽唯
代表祈禱	北原孝子
聖書箇所	ルカの福音書 13:6-9
メッセージ	(実を結ぶ秋のために 2) 柳 承吉牧師
主の祈り	

水曜礼拝	PM 7:00～
司会	松島スヤンティ
代表祈禱	韓芽唯
聖書箇所	
メッセージ	柳澄香
主の祈り	

今週の御言葉	ぶどうの木のたとえ
	「真のぶどうの木であるイエス・キリスト」 ヨハネの福音書 15 章 1～12 節

今は美味しいぶどうを食べられる季節です。ぶどうは世界中の人々が好む果物の一つであり、その原産は中東地域といわれます。イスラエルでは、ぶどうの木はとても身近な存在でした。オリーブの木やいちじくの木と並んで、イスラエルを象徴する木でもあります。ですから、イエスがぶどうの木を用いて語られたたとえは、聞く人々にとって非常に分かりやすいものでした。

イエスはまず、「わたしはまことのぶどうの木です」と語られました。旧約聖書でもイスラエルは「ぶどうの木」にたとえられましたが、その多くは「野ぶどう」すなわち、食べられない実を結んでしまったことへの非難でした(イザヤ 5:2 など)。しかし、イエスは「わたしはまことのぶどうの木だ」と語られました。ここで「まこと」とは「ἀληθινὴ (アレティネ)」というギリシャ語で、「真実な」「偽りのない」という意味です。イエスは偽りの指導者ではなく、真実で忠実な神の御子なのです。

イエスはヨハネ 10 章でこう宣言されました。「盗人が来るのは盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかない。わたしが来たのは、羊がいのちを得、しかも豊かに得るためである」(10:10)。イエスは極上の実を結ぶ真のぶどうの木です。父なる神は、御子イエスをこの地に植えられました。だからこそ、イエス・キリストにとどまる人は、豊かな恵みの実を結ぶのです。ぶどうの木において重要なのは、「枝が幹につながっているかどうか」

です。枝は自分の力で生きられません。幹から流れる養分と水分によってのみ生きることができます。同じように、私たちはイエスにつながってこそ、霊的に生きることができます。イエスから離れてしまえば、枝が枯れるように、命も力も失ってしまうのです。イエスはこう言われました。「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない」(15:5)。この言葉は、私たちの信仰生活の核心です。どんなに知識や経験があっても、イエスから離れては真の実を結ぶことはできません。では、具体的に「イエスにとどまる」とはどういうことでしょうか。

御言葉にとどまること・日々の生活で聖書を読み、神の御言葉を心に刻むことです。聖書は霊の糧であり、水です。

祈りにとどまること・「わたしの言葉があなたがたのうちにとどまるなら、求めるものを何でも与えられる」と言われました(15:7)。祈りを通して主との交わりを深めましょう。

愛にとどまること・12 節で「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と命じられました。互いに赦し合い、愛をもって仕えるとき、私たちは真の枝として実を結ぶのです。

真のぶどうの木はイエス・キリストただ一人です。イエスにとどまるとき、私たちは豊かな実を結び、父なる神の栄光を現すのです(15:8)。それは一人ひとりの生活においても、家庭においても、教会においても、そしてこの時代においても同じです。

「わたしが道であり、真理であり、いのちです」(14:6)と語られたイエスに、全生涯をつなぎ合わせましょう。そこにこそ、人生の答えがあり、真の喜びがあるのです。